

美の里づくり審査会特別賞

あしがら^{ばなきこうせんづしま}花紀行千津島地区実行委員会（神奈川県南足柄市）

地域づくりは人づくり

千津島地区は南足柄市の北東部、酒匂川の形成する扇状地の開口部に位置する都市近郊の農業地域です。県営ほ場整備事業にあわせ、田園空間を利用し、周囲の景観を活用し環境に配慮した新たな里づくりを行うこととなり、平成 10 年に花による里づくり

が始まりました。その際、選定する花の条件としては①花の植栽によって耕作の障害とならないこと、②開花期間が長い種類であること、③千津島地区のみならず周辺地区と協調ができるものであること、④全国的に集団植栽の事例のない種類であること、として



酔芙蓉とヒガンバナ

「酔芙蓉」と「芙蓉」を選定しました。そして 700 本の「酔芙蓉」、100 本の「芙蓉」を植栽した全長1kmにわたる日本一の酔芙蓉農道が平成 12 年に完成しました。

千津島地区での地域づくりの特徴は5つあります。

特徴その1:住民による手づくりの地域づくりに行政の支援を得て地域と行政が一体となった現在の体制が作り上げられてきたこと

特徴その2:田園の広がった周囲の景観、箱根外輪山と丹沢、松田丘陵に囲まれた空間での花の植栽を通し、人の心が安らぐ里づくりを目指したこと

特徴その3:「地域づくりは人づくり」をモットーとし、作業に参加した人々の和が堅固になり、それが地域の人々の共感を呼んで、地域に一体感を醸成したこと

特徴その4:広域的発想によって計画されたこと。特に「花アオイ農道」は隣町である開成町の「あじさい農道」との連携を意識したものであり、現在の「あしがら花紀行ネットワーク」設立の礎となっています。

特徴その5:歴史に根ざした未来志向の地域づくりであること。「里づくりは、先人の培った歴史を無視してはならない。その歴史の上に新たな文化を付け加えていく文化の創造である」との理念に基づき地域の歴史と融合できる景観の保全に心がけてきました。

これまでに酔芙蓉農道や花アオイ農道は一応の完成をみていますが、今後さらに充実させていくため

に、以下を実行することを考えています。

①花アオイ農道の充実:現在花アオイ農道は集団栽培としては日本一であるが、さらなるボリューム感を出すために、苗の補植などをしていきたい。

②酔芙蓉農道の延長:酔芙蓉農道を、最寄のバス停に近づけるべく延長したい。

③春めきの里の創出:春めき桜は中高木でありほ場では植栽の場所が限定されるため、農家の庭に植栽をする「一戸に一本春めき桜」運動を展開したい。

④地域の歴史を活用したイベントの開催:地域の史跡の保全を図ると共に、地域の祭りである観音様の例祭や椿を生かしたイベントなどを考えていきたい。

⑤都市住民との交流拡大による地域経済の活性化:「酔芙蓉まつり」をはじめ、各種のイベントには来訪者が増加している。今後は、受け入れ体制を充実させ、地場産品販売の拡大を行い、さらなる地域経済の活性化を図っていきたい。

■講評

単なる「花づくり」を超えて、地域の歴史に根ざした地域づくりや、隣接する町との連携を図る広域的な活動など、地域住民主導による活動をしてきたことや、それらを通じて美しい里づくりがなされてきたことが評価されました。



ハナアオイ



全長 1 km にも及ぶ酔芙蓉農道